

開催報告

第53回土木学会年次学術講演会

(株)大林組技術研究所 高橋真一

第53回土木学会年次学術講演会が1998年10月4日(日)～6日(火)3日間、神戸市の山の手にある神戸大学にて開催された。発表部門は従来どおり以下の7部門で、発表論文数約4100編、参加人数延べ約6900名の活発な発表が行われた。

第I部門：材料力学・振動工学・構造設計・構造解析・橋梁工学・構造一般など

第II部門：水理学・水門学・河川工学・海岸工学・港湾工学・発電工学など

第III部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学など

第IV部門：道路工学・鉄道工学・測量・交通計画・都市計画・地域計画など

第V部門：土木施工法・コンクリート工学・鉄筋コンクリート工学・舗装など

第VI部門：土木技術・技術開発・技術情報・建設労務・海外工事など

第VII部門：環境システム・環境保全・用排水システム・廃棄物・環境管理など

図-1は、最近5年間の発表件数の経緯である。発表論文数の盛り返しが見られた。

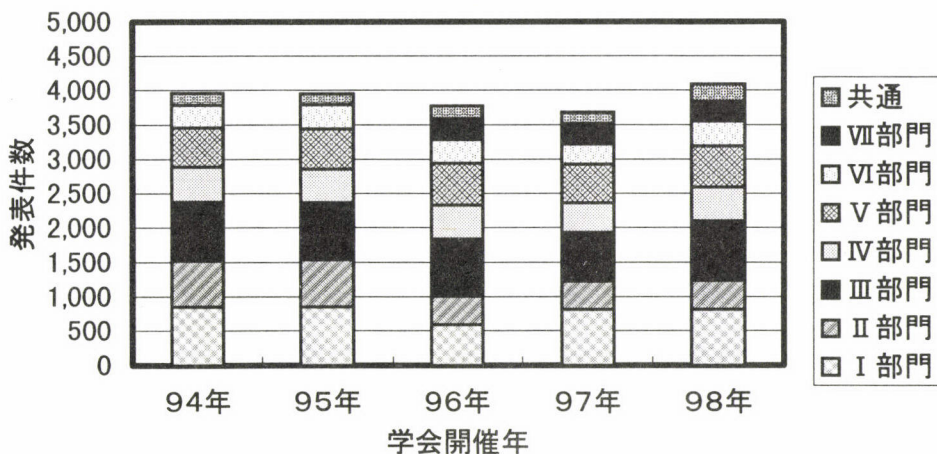


図-1 過去5年間の土木学会発表件数の推移

ジオシンセティックス関係の発表は、関連の深い第III部門において、補強土セッション：11編、支持力セッション：1編の合計12編と、これまでの同大会の発表傾向と同様に補強土セッションを中心に活発な発表が行われた。その他の発表セッションでも、第VI部門において、技術開発セッション1編（引張特性の試料幅依存性）、港湾構造セッション2編（袋詰め軽量モルタル）、各種基礎セッション：2編（袋詰め補強杭）の発表が、また第VII部門では、廃棄物収集処理処分セッション5編（しゃ水シート関連）、緑化ビオトープセッション1編（地中マット）の発表が行われた。

